

門真ネット企業プレゼン会 Vol. 35

多品種・少量品を完全受注で短納期・一貫生産を実現！

株式会社広伸 主任 吉田 剛 氏



株式会社広伸は、昭和 40 年 7 月に門真市巢本町で辻製作所として創業、ナショナル住宅建材株式会社（現パナホーム株式会社）を主要な顧客とし、当初はプレハブメーカー用の住宅部材を手掛けていた。平成 2 年に株式会社広伸に改名し、平成 18 年には中国の北京に進出、5 年後の平成 23 年には中国国内での内需対応のため、瀋陽工場を開設した。その後も成長を続け、現在の従業員は約 90 名、売上高は約 13 億円、工場面積は約 1500 坪もある。業務内容は、マルチな金属板金加工で、プレス加工からタレパン加工、レーザー加工、長尺ブレーキ加工、ロボット溶接加工まで、金属の板金加工は一貫してできる設備を保有し、顧客は、ハウスメーカー、物流設備メーカーのほか、特殊車両メーカーなど幅広いのが特徴である。

同社は、生産量・材料・材質・加工方法など柔軟な対応力を持ち、一番の強みは、月 18,000 件、30 万個、5,000 種の多品種・少量品を完全受注で、最短 3 日の短納期で一貫生産できる点にある。具体には、①指示書に図面・実績・バーコードを入力することで独自生産システムを構築し生産の見える化、②独自材料加工と運搬ロスレスによる短納期化、③熟練者によるネスティング、溶接治具の内製化、設備の IT 化による低コスト化推進を行っている。特に、汎用性のある定尺材料の中に、さまざまな種類のパーツを組み合わせる「ネスティング」は独自の加工方法で、同社の従来の方法に比べ、歩溜まりは約 8 % 向上、加工時間は約 20 分の削減に成功した。また、品質保証体制は、工程検査と完成品検査で品質を保証している。

さらに、環境への取り組みとしては、平成 24 年に I S O14001 を取得し、大手取引会社が独自で定めるグリーン調達先基準にもクリアしている。例えば、作業で汚れた軍手を従来は廃棄していたが、専門業者で洗浄し再利用することで、軍手の購入コストの削減にもつながっているという。

今後は、顧客の求める多様なニーズに高次元で応えるため、創業以来培ってきた同社のさまざまな加工技術と、3DCAD/CAMとIoTをツールとした新たな加工技術と工法開発を融合させていきたい。また、現在は熟練者頼りになっている 12mm以上の中厚板の溶接技術を標準化することで、ロボット溶接を実現し、品質の安定化、コスト競争力、納期対応能力を向上させ、中厚板の金属加工で地域オンリーワン企業を目指したいとプレゼンを行った吉田主任は語る。

ビジョンを広げ、成長を続ける同社に今後も注目したい。

【企業データ】

企業名：株式会社広伸

住所：〒571-0017 門真市四宮4-5-22

TEL：072-883-0660

URL：<http://koshin-k.com>